

講評者は授業で何を見ているか —千々布敏弥先生（国立教育政策研究所）ヘインタビュー—

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授

<http://smizok.net/>
E-mail mizokami@toin.ac.jp

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、准教授、教授を経て、2018年に桐蔭学園へ。2019年同理事長、現在に至る。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。



※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです

(ご紹介)



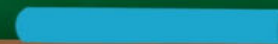
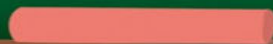
千々布敏弥
ちちぶ としや

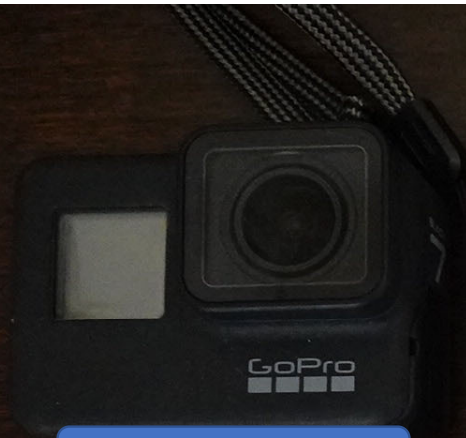
国立教育政策研究所 研究企画開発部 総括研究官

九州大学大学院博士課程中退、文部省入省。その後、私立大学教員を経て、1998年から国立教育研究所（現・国立教育政策研究所）の研究官となり、現在に至る。



> 千々布敏弥 (2021). 先生たちのリフレクションー主体的・対話的で深い学びに近づく、たった一つの習慣ー 教育開発研究所





GoPro Hero7



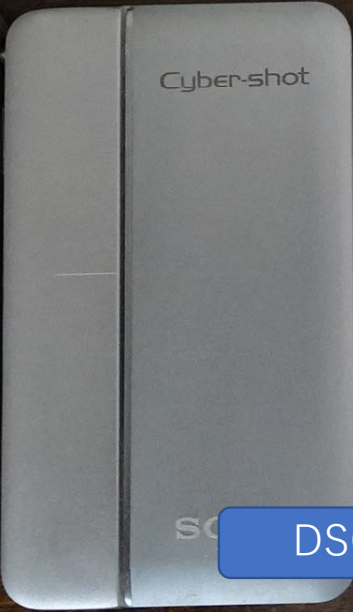
DSC-W830



DSC-WX350



DSC-TX55



DSC-TX66



2022 06 29

No26

講評者は授業で何を見ているか

—千々布敏弥先生（国立教育政策研究所）へインタビュー—

6 1 2
① の位にくり
る筆算のしかたをわ
う。

2	4	11	14
×	3		

6	12		

20			

60			

612			

まず一の位
 $3 \times 4 = 12$
うぎに十の位
 $20 \times 3 = 60$ を
つけして
と2をあわ
て62です。

$3 \times 4 = 12$
 $2 \times 3 = 6$



すごい！
この1枚の写真(ノート)からここまで見通すか！

それではご覧ください

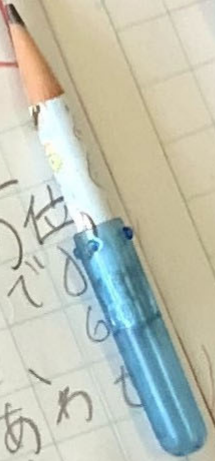
10 6 火
 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
 24 × 3 を筆算でしよう。

$$\begin{array}{r} 24 \\ \times 3 \\ \hline 612 \end{array}$$

① 1の位にくり
 る筆算のしかたを考えよ。

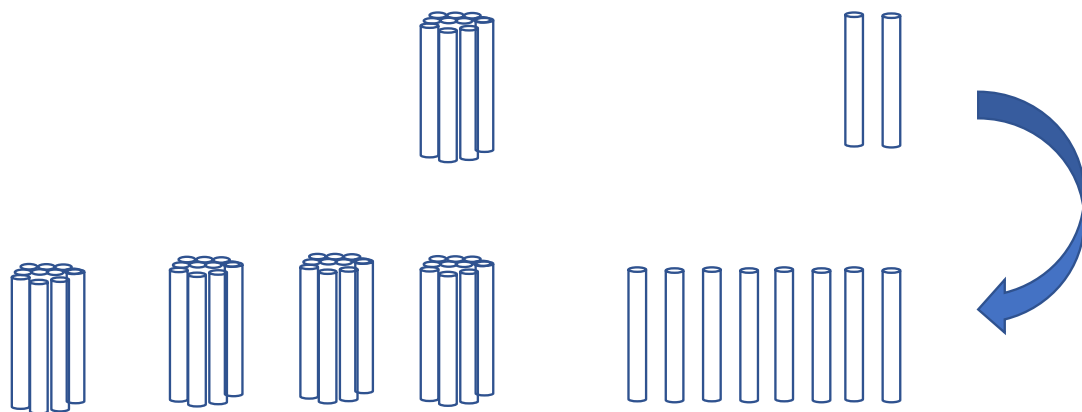
24	1114	まず一の位
× 3		3 × 4 = 12
	1113	12に十の位
		の2を60で
		20 × 3 = 60
		をいして、
		と2をあわ
		て62です。

2 × 3 =	6	13 × 4 =	52
6		12	
6		12	
612			



教科書の記述は. . .

• 前時 : 12×4



• 本時 : 24×3

4. たし算とひき算の筆算

～くり上がりが2回の筆算～

=1回目=

①

5	7	2
+	3	5
		9

②

7	9	3
+	1	5
		7

④

4	7	7
+	4	3
		6

⑤

+		

=2回目=

①

2	6	5
+	1	8
		9

↑
10進法

④

2	7	6
+	6	5

2	5	9
+	6	5
		1

直し、大事
問中

名前 (米)
 3回目=

①

$$\begin{array}{r} 284 \\ + 298 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 569 \\ + 153 \\ \hline \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 319 \\ + 291 \\ \hline \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 165 \\ + 385 \\ \hline \end{array}$$

=4回目=

①

$$\begin{array}{r} 165 \\ + 337 \\ \hline \end{array}$$

②

$$\begin{array}{r} 228 \\ + 76 \\ \hline \end{array}$$

③

$$\begin{array}{r} 30 \\ + 293 \\ \hline \end{array}$$

④

$$\begin{array}{r} 208 \\ + 95 \\ \hline \end{array}$$

⑤

$$\begin{array}{r} 493 \\ + 7 \\ \hline \end{array}$$

5問中



学習指導要領

(3) 乗法に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

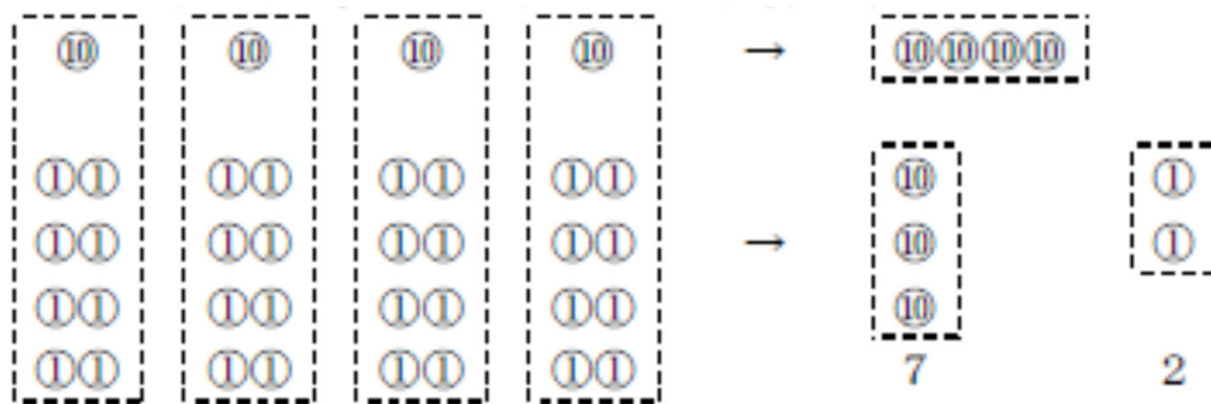
ア 次のような知識及び技能を身に付けること。

(ア) 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法の計算が、乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。

学習指導要領解説

乗数が1位数の計算の指導に当たっては、児童が自らその計算の仕方を考えることができるよう指導することが大切である。例えば、 18×4 の計算を考える場合、乗法の意味に基づき、 $18 + 18 + 18 + 18 = 72$ と考えることができる。また、 18 を $9 + 9$ とみて、 9×4 と 9×4 を合わせて $36 + 36 = 72$ と考えることもできる。

後に学習する筆算に結び付く考えは、 18 を $10 + 8$ とみて、 10×4 と 8×4 に分けて、 $40 + 32 = 72$ と考えることである。このことは次のような図で表現し、式と関連付けられるようにする。このようなことは計算の確かめにもなっている。



溝上チャンネル
2022年1月



溝上チャンネル
2022年6月案

技術的省察

実践的省察

批判的省察

個人としての
教師の成長



授業の改善



組織としての
学校の成長



主体的・対話的
で深い学び

